

温水器試験成績書

形名

SRT-37FH2	
SRT-46FH2	

三菱電機株式会社 群馬製作所

試験項目	試験方法	試験結果
1. 絶縁抵抗試験	通常の使用状態(電気温水器のタンクは満水の状態)において、500V絶縁抵抗計により測定した電源回路とアース端子間の絶縁抵抗は、1MΩ以上であること。	合格
2. 絶縁耐力試験	通常の使用状態(電気温水器のタンクは満水の状態)において、電源回路とアース端子間にAC1500Vを1分間印加したとき、耐えること。	合格
3. 漏洩電流試験	通常の使用状態(電気温水器のタンクは満水の状態)において、機体の表面と大地間に1kΩの抵抗を接続して流れる電流は1mA以下であること。	合格
4. 給水時間	水源水圧200kPa、給水配管20Aにおいて、タンクが満水になるまでの時間は、40分以内であること。	合格
5. 排水時間	排水栓を開いて、タンクの水が空になるまでの時間は60分以内であること。	合格
6. タンク容量	水の比重を[1]として、台バカリにて測定したタンクの容量は規定値±2%以内であること。	合格
7. 水圧試験	タンクを満水にした後、昇圧ポンプにより水圧を上昇し、200kPaを5分間保持したとき、漏水、変形のないこと。	合格
8. 給湯量	水源水圧200kPa、給水配管20Aにおいて、給湯配管出口開放での流量は、13L/分であること。	合格
9. 保温性能試験	タンクを満水の状態から定格電圧を印加して、自動温度調節器が動作した後電源を開路し、そのまま13時間放置させ、タンク容量の1/2の量を採湯したときの湯温は、(沸き上げ温度-13K)以上であること。	合格
10. 使用性能試験	タンクを満水の状態から定格電圧を印加して、自動温度調節器が動作した後電源を開路し、その後1時間経過ごとにタンク容量の1/13ずつ採湯する。12回目の採湯したときの湯温は、(沸き上げ温度-30K)以上であること。	合格
11. 平常温度試験	標準設置状態にて、タンクを満水とし、定格電圧を印加し沸き上げを実施したとき、各部の温度上昇がほぼ一定となったときの到達温度は規定値以下であること。(周囲温度は30℃とする。)	合格
12. 消費電力試験	平常温度試験における消費電力は、定格+5%、-10%以内であること。	合格
13. 逃し弁動作圧力	逃し弁の一次圧力を徐々に上昇させ、逃し弁が吹き始める時の圧力は97+2/-4kPa以内であること。	合格
14. 湯張り湯温試験	水源水圧200kPaにおいて、ふる自動で湯張り時の湯温は設定に対し±3℃以内、また1回目と2回目の湯張り温度の差は±2℃以内であること。	合格
15. 高温さし湯試験	「高温さし湯」運転を行ない、高温さし湯温度を測定する。 (規格:さし湯湯温)60 設定時 60±3 80 設定時 81-3 以上	合格
16. 湯張り流量試験	水源水圧200kPaにおいて、単独湯張り時の流量は浴槽1階:10L/分以上、浴槽2階:7L/分以上であること。 ふる配管は15A、15m、10曲がり。	合格